

ヨーゼフ・ボイス

Joseph Beuys

1921-1986 ドイツ

アーティスト。初期のフルクサスに参加し、数々のパフォーマンスで注目された後、彫刻や芸術の概念を「教育」や「社会変革」にまで拡張した「社会彫刻」という概念にたどり着き、社会と芸術の正常な関係構築を目指した政治的活動に取り組んだ。「緑の党」の創設者の一人。

1921 - 1986 Germany

Artist. He participated in the Fluxus in its first years, and was noted for many performances. Later he came to the concept of "social sculpture" which expands the concept of sculpture and art into education and social innovation, and was involved in political activity aiming to build a normal relationship between

ヨーゼフ・ボイス

3トン・エディション

1973年

ゴムシートの両面に

シルクスクリーン (40柄あり)



Joseph Beuys

3ton edition

1973

Silkscreen on soft PVC sheets, printed on both sides (40 different images)

エディションすべてを合わせると重さが3トンになるところから命名された。作品は裏表に40の異なるイメージから選ばれた二つが組み合わせて刷られており、さらにその上にボイスがそれぞれ違った手法で手を加えている。

ヨーゼフ・ボイス

3トン・エディション

1973年

ゴムシートの両面に

シルクスクリーン (40柄あり)



Joseph Beuys

3ton edition

1973

Silkscreen on soft PVC sheets, printed on both sides (40 different images)

ヨーゼフ・ボイス

3トン・エディション

1973年

ゴムシートの両面に

シルクスクリーン (40柄あり)



Joseph Beuys

3ton edition

1973

Silkscreen on soft PVC sheets, printed on both sides (40 different images)

ヨーゼフ・ボイス

薔薇がなくては生きていけない

1972年

オフセット、サインと番号入り



Joseph Beuys

We cannot do it without roses

1972

Offset, signed, numbered

1972年のドクメンタ5でボイスが設置した「100日間情報センター」のディスカッションのシーン。雑誌『ZEIT』に掲載された。薔薇は、ボイスの作品に重要なモチーフとしてしばしば登場する。そこには、ボイスの神学・宗教に対する関心、あるいは歴史に向けられる関心をも見ることができる。

「本当はキリストの象徴は十字架ではなくペンタグラム（五角形の星形）なのです。薔薇十字団はペンタグラムのまわりに5つの薔薇を配していたのです。」

ヨーゼフ・ボイス

ヨーゼフ・ボイス

フェルト・スーツ

1970年

フェルト、エディション100、
内ポケットにサイン入り



Joseph Beuys

Felt suit

1970

Felt, edition 100, signed

世界大戦中、ドイツ空軍のパイロットだったボイスはクリミア地方に墜落して重傷を負う。そのときクリミアの原住民はボイスの体に脂を塗り、フェルトでくるんで体温を保持するという治療法で彼の命を救った。ボイスの作品に頻出する脂肪、フェルトのイメージの起源だが、代表的な作品がこのフェルトスーツである。スーツはボイス自身の身体に合わせて作られている。